

研究課題名	「日本産科婦人科内視鏡学会における手術および合併症登録」
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 産婦人科 氏名 井浦 文香
研究期間	(西暦) 2023 年 8 月 ~ (西暦) 2026 年 12 月
研究の意義・目的	本研究（日本産科婦人科内視鏡学会における手術および合併症登録参加施設、以下本登録）は、本邦の産婦人科内視鏡下手術の現状把握により医療の質の維持、向上に役立て、患者に最善の医療を提供することに貢献することを目的とする。本研究で集められたデータを分析することで、以下のことを明らかにできる。 ○ 内視鏡手術を行っている施設の特徴 ○ 医療水準の評価 ○ 手術を受けた方の予後 ○ これから手術を受ける方の合併症の危険性など
研究の方法 (対象期間含む)	1. データの収集方法 研究参加施設から、共通の入力システムを用いて患者情報・手術内容・合併症を1手術ごとにコンピューター上に入力し、匿名化加工をおこなったうえで日本産科婦人科内視鏡学会事務局に提出する。データは電子的に提出され、その過程の通信は暗号化され、その管理と解析は学会事務局で行う。学会への提出は、当該年度1年分のデータをまとめて、翌年6月末日までに提出する。 2. 実施期間 登録期間は承認日以降から2025年12月31日まで症例を対象とする。登録は、1年分のデータをまとめて、翌年の6月末日までの登録を行うため、研究実施期間は承認日から2026年12月31日までとする。2026年1月1日以降の症例については、実施期間延長のための再申請を行う予定である。
①試料・情報の利用目的および利用方法 ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③試料・情報の取得の方法 ④利用する者の範囲 ⑤試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①登録データの詳細 入力操作を円滑に行うため ID、氏名、年齢、手術日を入力する。学会事務局に提出するデータには、これらのただちに個人を特定できる情報は削除される。 その他の情報も選択による入力でカテゴライズされる。学会事務局には個人を特定できない匿名加工情報が提出される。 ②診断名、施行手術術式、手術時間、合併症の有無、合併症の内容、合併症の程度、合併症の転帰、等 ③上記、“研究の方法”に記載。 ④日本産科婦人科内視鏡学会 調査普及委員会 研究責任者 井浦文香 ⑤武蔵野赤十字病院 院長 泉並木
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 産婦人科 氏名 井浦 文香 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525